

2023年度

# 大学院 授業料免除 入学料免除・入学料徴収猶予 申請のしおり

## 〔授業料免除〕

	前期分 (在學生)	前期分 (新入生)	後期分
申請登録	1月下旬～3月上旬		7月下旬～9月上旬
申請書類提出	3月中旬	3月中旬～下旬	9月中旬～下旬
結果通知	7月上旬		12月下旬～1月上旬
授業料支払	7月下旬		1月下旬

## 〔入学料免除〕

	4月入学
申請書類提出	入学手続期限まで
結果通知	6月上旬
入学料支払	結果通知から14日以内

※入学手続期限は研究科によって  
異なります。

### 授業料免除・入学料免除等に関する問い合わせ先

<鳥取地区>

学生部学生生活課奨学係

〒680-8550 鳥取市湖山町南4丁目101番地

TEL: 0857 (31) 6776・5059 FAX: 0857 (31) 6799

<米子地区>

米子地区事務部学務課学生係

〒683-8503 米子市西町86番地

TEL: 0859 (38) 7100 FAX: 0859 (38) 7109

# 目 次

1. 授業料免除の申請について	1
2. 入学料免除・入学料徴収猶予の申請について	2～3
3. 授業料・入学料の納付について	3
4. 申請にあたっての注意事項	3
5. 選考基準の概要	4～5
授業料免除申請書及び家庭調書記入上の注意	6～9

## 申請用紙

授業料免除申請書	(様式1)
提出書類一覧表	(様式2)
家計状況調書(私費外国人留学生)	(様式3-1)
家計状況調書(大学院独立生計者)	(様式3-2)
給与支払(予定)証明書	(様式4)
年収見込申立書	(様式5)
退職に関する証明書	(様式6)
母子・父子世帯申立書	(様式7)
医療費等支払明細書	(様式8)
介護保険介護サービス費支払明細書	(様式9)
領収書等貼付台紙(医療費用)	(様式8・9 [別紙])
無職の申立書	(様式10)
申立書	(様式11)

## 重 要

- 各手続期日を過ぎたものや書類が不備なものは受理しません。  
書類の不備、記入漏れ、又は内容が事実と相違して記入してある場合は、選考の対象から除外することがありますので十分点検し、早めに提出してください。
- 学生本人が申請手続きをよく確認しておいてください。  
担当係からの連絡(提出書類に関する照会や結果の通知など)は、学生本人に対して行います。
- 記載内容及び提出書類に虚偽の事実が判明した場合は、免除決定後であっても免除の許可を取り消し、授業料を納付していただきます。  
疑問点等があれば事前に問い合わせて、記載内容及び提出書類等に不備がないよう留意してください。

提出された個人情報、授業料免除及び入学料免除・徴収猶予の審査(場合によっては奨学金申請に関する審査)のために利用されます。その他の目的には利用されません。

# 1. 授業料免除の申請について

次に挙げる「免除対象者」に該当する場合は、本人の申請に基づき選考のうえ、当期分の授業料の全額又は半額が免除されることがあります。

ただし、予算に限りがあるため条件に該当していても免除とならない場合があります。

## 申請対象者

大学院生（国費外国人留学生・外国政府派遣留学生・研究生・聴講生・科目等履修生を除く）で、次の(1)～(3)のいずれかに該当する者

ただし、次に該当する者は、出願できません。

- ・特別な理由（病気や留学など）なく、修業年限を超えて在学している者
- ・特別な理由（病気や留学など）なく、前年度と同一学年にとどまっている者
- ・出願前6か月以内に学則第81条及び大学院学則第68条により懲戒処分を受けた者

- (1) 経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者
- (2) 授業料納付期限前6か月以内（新生入生については、4月入学者は前期分、10月入学者は後期分に限り入学前1年以内）に次のいずれかに該当し、授業料の納付が著しく困難であると認められる者
  - ① 学資負担者が死亡した場合
  - ② 本人又は学資負担者が風水害等の災害を受けた場合

\* 「納付期限前6か月以内」とは、前期分にあつては、前年10月1日から本年3月31日までの期間、後期分にあつては、本年4月1日から9月30日までの期間のことです。
- (3) 上記(2)に準ずる場合であつて、学長が相当と認める事由がある場合

## 申請手続

### (1) 提出書類

6～9ページの「記入上の注意」のほか、提出書類一覧表（様式2）をよく読んで必要な書類を揃えて提出してください。

### (2) 提出期日及び提出先

前期申請時・後期申請時とも本学が定めた所定の提出期日・提出先に提出してください。大学から送られる「入学手続きの案内」や大学ホームページ等で確認してください。

申請書類各1部のみで、入学料免除（または徴収猶予）申請とあわせて授業料免除の併願申請が可能です。なお、提出期日終了後の申請は、原則として認めません。

## 免除結果決定の時期と通知方法

前期申請分は7月上旬ごろ、後期申請分は12月下旬ごろに決定する予定です。

免除結果は「学務支援システム CAMPUS SQUARE」に各自ログインして、「授業料免除結果の確認」から確認してください。結果を確認できる期間については、別途掲示及びホームページ等でお知らせしますので、日頃から掲示等を確認するよう心がけてください。

（連合農学研究科の学生へは、指導教員経由で通知します。）

## 2. 入学料免除・入学料徴収猶予の申請について

次に挙げる「免除対象者」に該当する者は、本人の申請に基づき選考のうえ、入学料の免除（全額又は半額）又は徴収猶予されることがあります。

ただし、予算に限りがあるため条件に該当していても免除とならない場合があります。

### 申請対象者

本学の大学院に入学する者で、次のいずれかに該当する者を申請対象者とします。（研究生、聴講生等として入学する者を除く）

ただし、入学料を納付した者は、対象となりません。

### 《入学料免除》

#### 大学院入学生

- ① 経済的理由により納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者
- ② 前年4月（10月入学者は前年10月）から出願時までの間に、本人の学資を主として負担している者（以下「学費負担者」）が死亡し、又は本人若しくは学費負担者が風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納付が著しく困難であると認められる者
- ③ ②に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

### 《入学料の徴収猶予》

- ① 経済的理由により納付期限までに納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者
- ② 前年4月（10月入学者は前年10月）から出願時までの間に、本人の学資を主として負担している者（以下「学費負担者」）が死亡し、又は本人若しくは学費負担者が風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納付が著しく困難であると認められる者
- ③ その他やむを得ない事情があると認める事由がある場合

### 申請手続

#### （1）提出書類

6～9ページの「記入上の注意」のほか、提出書類一覧表（様式2）をよく読んで必要な書類を揃えて提出してください。

#### （2）提出期日と提出先

本学が定めた所定の入学手続期間内に、学生部学生生活課奨学係（米子地区の学生は学務課学生係）に提出してください。提出期日終了後の出願は認めません。

### 免除・徴収猶予結果決定時期と通知方法

6月上旬ごろ（10月入学者は11月上旬ごろ）、結果が決定した旨をメール・掲示等でお知らせし、結果の通知については、通知書を配布します。

### 3. 授業料・入学料の納付について

#### (1) 申請後～結果決定まで

申請書が受理された者は、免除結果の決定があるまで授業料・入学料の納付が猶予されますので納付しないようにしてください。授業料については、預金口座振替の手続をしている者は、免除の決定があるまで口座振替は行われません。

申請後授業料・入学料が納付された場合、申請を取り下げたものとして扱い、理由を問わず返還できません。また、前期分授業料納付の際に後期分を納入した者は、後期分の授業料免除を申請することができません。

#### (2) 結果決定後

##### 《入学料》

選考の結果、免除にあっては不許可又は半額免除、徴収猶予にあっては不許可の決定がなされた場合は、その決定が通知された日から14日以内に納付すべき入学料を納入しなければ、入学の許可が取り消されます。

ただし、免除申請で不許可又は半額免除の決定を受けた者は、通知後14日以内に徴収猶予の申請を行うことができますので、徴収猶予を申請すれば、その決定があるまで入学料の納付が再度猶予されます。

徴収猶予の申請をした者で許可となった場合は、8月末（10月入学者は2月末）まで納付が猶予されます。

##### 《授業料》

選考の結果、不許可又は半額免除の決定がなされた場合は、前期は7月、後期は1月に授業料の口座振替が行われます。

### 4. 申請にあたっての注意事項

- (1) 提出書類は、台紙に貼り付ける等によりA4判に統一してください。
- (2) 様式が不足する場合はコピーして使用してください。
- (3) 不明な点があれば、書類提出日以前に問い合わせてください。提出日以後では書類が整わないため受理できない場合があります。
- (4) 提出された書類について、返却・閲覧はできません。必要に応じて提出前にコピーをとっておいてください。
- (5) 申請以降に、退学・休学することになった場合は、直ちに学生生活課奨学係（医学部は学務課学生係）まで申し出てください。

## 5. 選考基準の概要

授業料免除・入学料免除等者は、学力基準及び家計基準のいずれにも該当している者の中から選考します。ただし、学資負担者の死亡等特別な事由による申請の場合は、家計基準のみで選考します。

ただし、予算の都合で基準該当者であっても、免除とならない場合もあります。

\*以下の基準は2022年度時点でのものです。変更があった場合は、変更後の基準において審査されます。

### (1) 学力基準について

#### ① 大学院生（修士課程，博士前期課程）

1年次生：大学の成績がGPA値 2.3 [2.1] 以上（成績評価がGPA値でない学生は下記算式による平均値 2.0 [1.8] 以上）、又は入試成績順位が上位 1/2[2/3] 以内の者

$$\text{平均値} = \frac{(\text{優の単位数} \times 3) + (\text{良} \times 2) + (\text{可} \times 1)}{\text{修得した総単位数}}$$

\* [ ] 内の数字は、母子又は父子家庭，生活保護世帯，住民税非課税世帯（父母または父母に代わって家計を支持する者の市区町村民税所得割額が非課税）、本人が障がい者である場合，原子爆弾による被爆者又はその子女である場合，私費外国人留学生のいずれかに該当する者の学業成績を示します。

2年次生以上：研究科の成績がGPA値 2.3 [2.1] 以上の者（2年次前期の申請は1年次前期までの成績、2年次後期の申請は1年次までの成績）

#### ② 大学院生（博士課程，博士後期課程）

指導教員等が特に学業優秀と認めた者

### (2) 家計基準について

下枠内の数式により算出した「総所得金額（原則前年1年間）」がP.5記載の「収入基準額」を超えない申請者を授業料納付が困難と認め、免除等の選考対象とします。

$$\text{総所得金額} = \text{「総収入金額」}^{(注1)} - \text{「給与所得の必要経費」}^{(注2)} - \text{「特別控除額」}^{(注3)}$$

(注1) 総収入金額 = 「給与所得の収入額」 + 「給与以外の所得額」

「給与所得の収入額」は給与や年金等の源泉徴収票でいう支払金額、「給与以外の所得額」は確定申告書等でいう収入金額等から必要経費を差し引いた所得金額のことです。

(注2) 給与所得の必要経費（給与所得の収入額に応じて定めている額）

給与所得の収入額	必要経費
～104万円	給与所得の収入額全額
105万円～200万円	給与所得の収入額×0.2+83万円
201万円～653万円	給与所得の収入額×0.3+62万円
654万円～	258万円

\*給与所得者が2人以上いる場合は、各人別に計算します。

(注3) 特別控除額 (学生の属する世帯の特別の事情に応じて定められている額)

控除の区分	特 別 の 事 情	特 別 控 除 額	
		自宅通学	自宅外通学
本人控除		28 万円	72 万円
* 予備校・各種学校は就学者として控除できません。	小学校児童 1 人につき	8 万円	
	中学校及び中等教育学校の前期課程生徒 1 人につき	16 万円	
	国・公立高等学校及び中等教育学校の後期課程生徒 1 人につき	28 万円	47 万円
	私立高等学校及び中等教育学校の後期課程生徒 1 人につき	41 万円	60 万円
	国・公立高等専門学校学生 1 人につき	36 万円	55 万円
	私立高等専門学校学生 1 人につき	60 万円	80 万円
	国・公立大学学生 1 人につき (科目等履修生・研究生は対象にならない)	59 万円	102 万円
	私立大学学生 1 人につき	101 万円	144 万円
	国・公立専修学校高等課程生徒 1 人につき	17 万円	27 万円
	私立専修学校高等課程生徒 1 人につき	37 万円	46 万円
	国・公立専修学校専門課程生徒 1 人につき	22 万円	62 万円
	私立専修学校専門課程生徒 1 人につき	72 万円	112 万円
母子・父子控除	母子・父子世帯	49 万円	
障がい者控除	障がい者 1 人につき	86 万円	
長期療養費控除	療養のため経済的に特別な支出をしている金額(6ヶ月以上にわたり療養中又は療養を要する場合で、過去1年以内に支払った金額のみ)		
本人又は学費負担者の風水害被害による控除	日常生活を営むために必要な資材あるいは生活費を得るための基本的な生産手段(田・畑・店舗等)に被害があつて、将来長期にわたって支出増又は収入減になると認められる年間金額		

### 収入基準額

世帯人員	修士課程・博士前期課程	博士課程・博士後期課程
1 人	1,820,000 円	2,540,000 円
2 人	2,900,000 円	4,040,000 円
3 人	3,340,000 円	4,670,000 円
4 人	3,640,000 円	5,070,000 円
5 人	3,930,000 円	5,480,000 円
6 人	4,120,000 円	5,740,000 円
7 人	4,320,000 円	6,020,000 円
8 人以上	1 人増すごとに上記プラス 200,000 円	1 人増すごとに上記プラス 280,000 円

# 申請書及び家庭調書記入上の注意

1. 基準日(前期申請分は申請年度の4月1日, 後期申請分は10月1日)現在の状況を記入してください。
2. 申請者本人が黒のボールペンで記入し, 訂正する場合は修正液等を使用せず, 訂正箇所二本線を引き, 余白に正しい内容を記入してください。
3. ※印は該当箇所を選んでください。

## 申請書記入例

様式1(表)

(注) 新入生で学生番号の不明な時は, 空欄にしてください。  
(本学出身の大学院新入生は, 以前の学生番号を記入)

		学生番号 (注)	M	X	X	J	3	0	0	1	Y
<b>授業料免除・入学料免除等申請書</b> 鳥取大学長 殿 <span style="float: right;">西暦 XXXX 年 3 月 5 日</span>											
※ <input checked="" type="checkbox"/> 修士/博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士/博士後期課程											
持続性社会 創生科学 研究科 <b>工学</b> 専攻											
入学年月: 西暦 XXXX 年 ※ 4 月・10 月 入学 学年: 2 年											
フリガナ トットリ イチロウ 氏名 <b>鳥取 一郎</b> (学生本人署名)											
本人現住所: (〒680-8550) <b>鳥取市湖山町南101 大学アパート102号</b> TEL: (携帯) <b>080-9999-9999</b> (自宅) <b>0857-31-6776</b> メールアドレス: <b>aaaa@bbb.ne.jp</b> ※ <b>確実に見るメールアドレスを記入</b>											
20XX 年度 <input type="checkbox"/> 入学料免除 <input type="checkbox"/> 入学料徴収猶予 <input checked="" type="checkbox"/> (前 期分) 授業料免除 の許可をくださるよう関係書類を添えて申請いたします。 (✓チェックをしてください。入学料と授業料の併願可。その場合関係書類は1部のみで構いません。) なお, 記載事項は事実と相違ありません。											
申請理由(免除申請するに至った理由。主たる家計支持者が無職・失職中の場合, 生活費の出所も必ず記入すること。) <b>父は, 勤めていた会社を20XX年1月に辞めて3月に転職しましたが, 給料は安く, また, わずかな田畑で農業を営んでいますが, 自家消費程度のもので, 収入はあまりありません。</b> <b>姉は, 4月から就職し, 実家から勤めに出ます。</b> <b>弟は, 県外の大学, 4月からは妹が高校進学と, 私を含め就学者が3人となり, 家計に占める学費の割合は高くなっています。</b> <b>祖母は, 足が不自由で身体障がい者の認定を受けており, 母は介護のため働きに出ることができません。</b> <b>私もできるだけアルバイトをして家計を助けるようにしていますが, ぜひ授業料の免除をしてくださるようお願いします。</b>											
休学歴 期間: _____ 理由: ※ 留学 ・ 病気 ・ その他 ( _____ )											
前回の授業料免除結果: ※ 申請なし ・ 全免 ・ <b>半免</b> ・ 不許可											
私費外国人留学生の渡日年月: _____ 西暦 _____ 年 _____ 月											
成績認定 博士課程 (必須) 指導教員等署名 _____											

※印は該当箇所を○で囲んでください。  
 提出年月日を記入してください。

「申請理由」欄  
 ・免除を申請するに至った家庭事情やその他特に説明を要する事情を, 家族全員の現在の状況がわかるように, 本人の立場で具体的に記入してください。  
 ・家計支持者が現在無職又は無職に近い状態で, 経常的な収入が皆無もしくは僅少な場合は, 生活費の出所を詳しく記入してください。

「休学歴」欄  
 休学した期間及び理由を記入してください。

「私費外国人留学生の渡日年月」欄  
 私費外国人留学生のみ記入してください。

「成績認定」欄  
 大学院の博士課程及び博士後期課程の学生のみ指導教員等が特に学業優秀と認める署名が必要です。

**家庭調書記入上の注意点**

★「家族状況」欄

1. 「家族」は同居・別居を問わず、申請者と生計を一にする者全員を記入してください。

(例) 実家に住む者、実家から離れて修学している兄弟や単身赴任中の者、両親の被扶養者 など

※基準日現在において、就職や結婚により独立の生計を営む兄弟姉妹や、生計を一にしない祖父母等は、世帯人数に数えないため記入する必要はありません。

2. 父母死別・生別の場合は、氏名欄に「死別」又は「生別」と朱書きしてください。(氏名の記入は不要)

3. 「職業」：会社員，食品小売業，地方公務員，小学校教員などと具体的に記入してください。

主婦，家事手伝い，無職等の場合もその旨記入してください。

4. 「勤務先」：〇〇会社，〇〇商店，〇〇市役所，〇〇市立〇〇小学校などのように記入してください。事業主の場合は，〇〇商店経営等と記入してください。

5. 「就職年月」：現在の職業に就いた年月を記入してください。

《記入例》

生計維持者	続柄	氏名	年齢	職業	勤務先	就職/開業年月	給与所得の収入額 (税込) (千円)		給与以外の所得額 (税込) (千円)	
	父	鳥取 太郎	52	会社員	××株式会社	S・H・R x年 1月				
母	鳥取 なつ子	49	主婦		S・H・R 年 月					
					S・H・R 年 月					
家族状況	続柄	(学生番号:鳥取大学生のみ) 氏名 (年齢)	設置区分	在学学校 (学年)		通学区分	就学者(本人含む)と未就学児を含めた人数 ※ 1:2人以下 2:3人以上(多子)			
	本人	( MXXJ3001Y ) 鳥取 一郎 ( 23 才)				※ 1: 自宅 2: 自宅外				
	弟	( ) 鳥取 次郎 ( 20 才)	※ 1: 国公立 2: 私立	※ 1: 小学校 2: 中学校 3: 高校 4: 大学 5: 高専 6: 専修学校(高等) 7: 専修学校(専門)	学校名 ○○大学△△学部 ( 3 年)	※ 1: 自宅 2: 自宅外				
	妹	( ) 鳥取 ふゆ子 ( 15 才)	※ 1: 国公立 2: 私立	※ 1: 小学校 2: 中学校 3: 高校 4: 大学 5: 高専 6: 専修学校(高等) 7: 専修学校(専門)	学校名 □□高等学校 ( 1 年)	※ 1: 自宅 2: 自宅外				
		( ) ( 才)	※ 1: 国公立 2: 私立	※ 1: 小学校 2: 中学校 3: 高校 4: 大学 5: 高専 6: 専修学校(高等) 7: 専修学校(専門)	学校名 ( 年)	※ 1: 自宅 2: 自宅外				
その他の家族	祖母	鳥取 はる	73	無職	年金受給	生計を同一とする祖父母・兄弟姉妹について記入してください。				
	姉	鳥取 あき子	24	公務員	□□市役所					

太線枠内  
記入不要

★「就学者」欄

就学者とは、小学校，中学校，高等学校，高等専門学校，大学（短期大学・大学院・大学の専攻科・別科を含む），盲・聾・養護学校，専修学校（高等課程・専門課程）に在学する人です。

該当する設置区分・学校区分・通学区分を○で囲み，学校名を書いてください。（高等学校以上の就学者については，在学証明書を添付）

★「就学者を除く家族の収入状況」欄

1. 所得は、前年1月から12月までの1年間の収入金額を前年分の源泉徴収票、確定申告書又は市区町村民税申告書の写により記入してください。  
 (ただし、前年中途又は今年になって新たに就職・転職(開業含む)した場合は、下記4を参照し推算額を記入してください。)

《記入例》

区分	続柄	A.	
		父	母
		(円)	
生計維持者の収入状況	給与・賃金・賞与・役員報酬	4,532,688	
	年金・恩給		
	雇用保険・公的生活扶助料等		
	アルバイト(証明書あり)		
給与収入額合計		4,532,688	
給与所得以外の所得額	商・工・農林・水産業	376,500	
	家賃・地代・利子・配当	0	
	その他		
	給与所得以外の所得額合計	376,500	

《源泉徴収票》

令和 年分 給与所得の源泉徴収票

〒 鳥取県米子市西町86

給与・賞与 4,532,688

2. 「給与所得の収入額」は給与・年金等の源泉徴収票の支払金額を記入してください。  
 ※児童扶養手当は、「雇用保険・生活扶助料等」の欄に年額を記入してください。

《確定申告書》

令和 年 月 日 令和 0 年分の 所得税及び復興特別所得税

住所 〒683-8503 個人番号

鳥取県米子市西町86

フリガナ

氏名

職業 同上

(単位は円)

種類	金額	源泉徴収額	控除額	所得金額
収入金額等				
専業等				
農業	1,880,798			1,880,798
不動産	1,200,000			1,200,000
利子				
配当				
給与	4,532,688			4,532,688
公的年金等				
雑所得				
その他				
短期				
長期				
一時				
所得金額				
専業等				
農業	376,500			376,500
不動産	1,200,000			1,200,000
利子				
配当				
給与	3,085,600			3,085,600

3. 「給与以外の所得額」は、確定申告書等による収入金額等から必要経費を差し引いた所得金額を記入してください。

所得金額の合計結果がマイナスとなる場合は「0」と記入してください。  
 マイナス金額を他の金額と相殺させることはできません。

4. 前年1月2日以降に就職・転職(開業含む)した場合は、出願時現在の所得を基に年間所得金額に見合う金額を次の計算方法により推算して記入してください。

(様式4又は様式5を添付)

《年間所得金額推算方法》(給与所得者の場合)

- ・賞与「有」の場合：3ヶ月の合計÷3×15又は3ヶ月の合計÷3×12+賞与額
- ・賞与「無」の場合：3ヶ月の合計÷3×12

## 「特別控除」について

### ★「長期療養者のいる世帯」欄

#### 1. 対象者

長期療養者とは、申請時現在において6ヶ月以上にわたり療養中の者又は療養を要すると認められる者をいいます。基準日（前期申請分は申請年度の4月1日，後期申請分は10月1日）現在において診療が終了した方は該当しません。

#### 2. 控除対象となる経費

申請月から過去1年以内に支払った療養費（医療保険給付が対象となる自己負担額のみ）が対象となります。

※健康保険等により医療給付を受ける金額，高額療養費や生命保険等で補填された金額は除いてください。

※文書料（診断書発行料），食費，差額ベッド代等，保険の適用をうけない自己負担分については，控除の対象となりません。

※介護の場合は，介護保険適用の介護サービスについて，利用限度額内の介護保険自己負担額を対象とします。

#### 3. 申請方法

##### 〈医療保険の場合〉

- ・ 1ヶ月以内に発行の診断書（「病名」，「申請時現在において6ヶ月以上にわたり療養中又は6ヶ月以上の療養を要する旨」及び「現在の状況」を明記したもの）
- ・ 領収書（写）等（様式8を添付）  
※診断書の病名に対応した領収書のみを添付してください。診断書の病名と無関係な領収書の経費は認められません。

##### 〈介護保険の場合〉

介護保険法により，要介護認定・要支援認定等を受けた者が介護サービスを利用した場合

- ・ 「介護保険被保険者証（写）」又は「要介護認定・要支援認定等結果通知書（写）」
- ・ 領収書（写）等（様式9を添付）

### ★「風水害等を受けた世帯」欄

申請時から過去6ヶ月以内（新入生の前期申請分については1年以内）に，日常生活を営むために必要な資材あるいは生活手段（田・畑・店舗等）に被害があつて，将来長期（2年以上）にわたって支出の増大又は収入の減少が予想される場合が対象となります。



(注) 新生で学生番号の不明な時は、空欄にしてください。  
(本学出身の大学院新生は、以前の学生番号を記入)

学生番号  
(注)

授業料免除・入学料免除等申請書

鳥取大学長 殿

西暦 年 月 日

※  
 修士/博士前期課程

\_\_\_\_\_ 研究科 \_\_\_\_\_ 専攻  博士/博士後期課程

入学年月: 西暦 年 ※ 4月・10月 入学 学年: \_\_\_\_\_ 年

フリガナ  
氏名

(学生本人署名)

本人現住所: (〒 \_\_\_\_\_ )

TEL: (携帯) \_\_\_\_\_ (自宅) \_\_\_\_\_

メールアドレス: \_\_\_\_\_

2023 年度

- 入学料免除
- 入学料徴収猶予
- ( \_\_\_\_\_ 期分) 授業料免除

の許可をくださるよう関係書類を添えて申請いたします。

(✓チェックをしてください。入学料と授業料の併願可。その場合関係書類は1部のみで構いません。)

なお、記載事項は事実と相違ありません。

申請理由 (免除申請するに至った理由。主たる生計維持者が無職・失職中の場合、生活費の出所も必ず記入すること。)

※印は、該当箇所を○で囲んでください。

休学歴 期間 \_\_\_\_\_ 理由 ※ 留学 ・ 病気 ・ その他 ( \_\_\_\_\_ )

前回の授業料免除結果 ※ 申請なし ・ 全免 ・ 半免 ・ 不許可 私費外国人留学生の渡日年月 \_\_\_\_\_ 西暦 年 月

成績認定  
(博士/博士後期課程のみ)

(必須) 指導教員等署名

家庭調書 (調書の基準日 前期: 2023年4月1日 後期: 2023年10月1日)

生計維持者	続柄	氏名	年齢	職業	勤務先	就職/開業年月	給与所得の収入額(税込)(千円)	給与以外の所得額(税込)(千円)
	父					S・H・R 年 月		
	母					S・H・R 年 月		
						S・H・R 年 月		
家族状況	続柄	(学生番号:鳥取大学生のみ) 氏名 (年齢)	設置区分	在学学校(学年)		通学区分	就学者(本人含む)と未就学児を含めた人数 ※ 1:2人以下 2:3人以上(多子)	
	本人	( ) 才)				※ 1: 自宅 2: 自宅外		
		( ) 才)	※ 1: 国公立 2: 私立	※ 1: 小学校 2: 中学校 3: 高校 4: 大学 5: 高専 6: 専修学校(高等) 7: 専修学校(専)		※ 1: 自宅 2: 自宅外		
		( ) 才)	※ 1: 国公立 2: 私立	※ 1: 小学校 2: 中学校 3: 高校 4: 大学 5: 高専 6: 専修学校(高等) 7: 専修学校(専)		※ 1: 自宅 2: 自宅外		
		( ) 才)	※ 1: 国公立 2: 私立	※ 1: 小学校 2: 中学校 3: 高校 4: 大学 5: 高専 6: 専修学校(高等) 7: 専修学校(専)		※ 1: 自宅 2: 自宅外		
その他の家族	生計を同一とする祖父母・兄弟姉妹について記入してください。							
生計維持者の収入状況	区分	続柄	A. 一般学生			B. 独立生計者 C. 私費外国人留学生		提出書類一覧表(様式2)の該当番号
			父(円)	母(円)	(円)	本人(円)	配偶者 夫・妻(円)	
	給与収入額	給与・賃金・賞与・役員報酬						No.4,5
		年金・恩給						No.10
		雇用保険・公的生活扶助料等						No.11~15
		アルバイト(証明書あり)						No.4,5
		給与収入額合計						
	給与所得以外の所得額	商・工・農林・水産業						No.6,7
		家賃・地代・利子・配当						No.6,7
		その他( )						個人年金等
給与所得以外の所得額合計								
特別控除	母子・父子世帯	※ 1: 父と 死別・生別( 年 月) 2: 母と 死別・生別( 年 月)					1: はい 2: いいえ	
	障がい者のいる世帯	続柄( ) 氏名( ) ※ 障がい者・原爆被爆者(障がい有) ※ 障害年金 有・無					人	
	長期療養者のいる世帯	・ 続柄( ) 氏名( ) ・ 過去1年以内の療養費 円					各控除額(千円)	
	風水害等を受けた世帯	災害内容( 年 月)	被害額		円			
	大学認定	世帯人員	学 力	1: 適 2: 適(学力) 3: 適(事情) 4: 適(事由) 5: 不適				
	生活保護世帯	1: はい 2: いいえ	家計支持者死亡	1: はい 2: いいえ		独立生計者	1: はい 2: いいえ	
	社会人	1: はい 2: いいえ	申請区分	1: 一般 A 2: 事情 B(学資負担者死亡・災害・その他)				

部分は記入しないでください。 ※印は、該当箇所を○で囲んでください。

## 提出書類一覧表

所属	申請者氏名	学生番号	不備書類提出期日
研究科			月 日まで

書類提出日 月 日

## ★「世帯」の考え方★

- 同居・別居を問わず、申請者と生計を一にするもの全員を家族として数えます。  
 ※実家に住む者、実家を離れて修学している兄弟、単身赴任をしている方、扶養親族など  
 ○就職や結婚などで独立の生計を営む兄弟や、生計を一にしない祖父母などは、世帯人数に数えません。

## (注意)

書類提出後から書類基準日までの間、申請内容に変更があった場合は、速やかに届け出てください。届け出のないまま後日変更の事実が判明した場合、免除決定後であっても免除の許可を取り消すことがあります。

## A. 一般学生（独立生計者及び私費外国人留学生を除く学生）

No	提出書類	留意事項
1	授業料免除申請書（様式1）	1. 記入にあたっては、「授業料免除申請書及び家庭調書記入上の注意」を参照し、 <b>書類基準日現在の状況</b> を記入してください。 <b>書類基準日：前期申請分は2023年4月1日 後期申請分は2023年10月1日</b> 2. 家族状況については、「世帯」の考え方を参考にして、もれなく記入してください。
2	提出書類一覧表（本紙）	本紙をよく確認して提出書類を揃えてください。
3	所得・課税証明書（原本） 【所得の有無にかかわらず、父母分】 （父母がともにいない場合は、父母に代わる家計支持者分）  （市区町村役場発行）	1. 前期申請時は、「令和4年度 所得・課税証明書」（令和3年（2021年）分の所得が記載されています）を提出すること。 後期申請時は、「令和5年度 所得・課税証明書」（令和4年（2022年）分の所得が記載されています）を提出すること。 2. <b>所得額および住民税額（市区町村民税所得割額）が表示されていること。金額が記載されていない証明書は不可です。</b> ※所得がない者（専業主婦、学生等）は、合計所得金額が「0円」と記載された証明書を提出してください。 ※住民税が非課税の場合は、「0円」もしくは「非課税」と記載のあるものを提出してください。

## (1) 家計支持者の所得に関する必要書類（家計支持者：原則父母。父母がともにいない場合は父母に代わる者）

No	対象者	提出書類	発行機関等
4	給与所得者 （パート・アルバイト等を含む。）	2022年1月1日以前から勤務している者 ○令和4年分の源泉徴収票の写	勤務先
5		2022年1月2日以降に就職・転職した者や再雇用となった者等 ○給与支払（予定）証明書（様式4）	勤務先
6	商業、工業、農林業、水産・漁業、その他の職業、利子・配当所得、その他雑所得のある者、	2022年1月1日以前から事業を行っている者 ＜確定申告をしている場合＞ ○令和4年分確定申告書の第一表・第二表の写と、青色申告決算書又は収支内訳書の写 ＜市区町村民税・都道府県民税の申告をしている場合＞ ○令和5年度市区町村民税申告書の写と、収支内訳書の写 ※前期分申請時、書類提出期間以降に確定申告又は住民税の申告を行う予定の場合は、 <b>申告後速やかに提出すること。</b> ※確定申告又は住民税の申告において給与収入や年金収入もある方は、原則No.4,5,10の書類も提出してください。  ○農業で転作奨励金を受けている場合は、受給金額のわかる通知書の写又は証明書	保管中のもの 税務署 市区町村役場 農業協同組合
7		2022年1月2日以降に開業・転業した者 ○年収見込申立書（様式5）	
8	以下の期間内に退職した者 ・授業料免除：基準日前6ヶ月以内 ・入学料免除等：基準日前1年以内 （パート・アルバイト等の者も含む）	○退職の事実がわかる書類を提出 （例）離職票、退職手当の源泉徴収票、給与所得の源泉徴収票（退職年月日が記載されていること）、退職に関する証明書（様式6）等	元勤務先
9	就労可能な無職者 （ただし、専業主婦、雇用保険受給中の者、65歳以上の者、就学者は除く。）	○無職の申立書（様式10） ○無職者の健康保険証の写（有効期限が基準日以降のもの） ※専業主婦でも所得・課税証明書に収入がある場合及び予備校生等は必要。	保管中のもの
10	年金・恩給等受給者 （遺族年金、障害年金、農業者年金、個人年金、企業年金等の年金を含む）	○最新の年金額改定通知書又は年金振込通知書の写 ※2022年中から受給が開始した年金がある場合は、その年金の年金証書の写など1年分（12ヶ月分）の受給金額がわかるものを併せて提出してください。 ※複数の年金を受給している場合、それぞれの証明書を提出してください。	保管中のもの 日本年金機構 総務省人事・恩給局 保険会社等

No	対象者	提出書類	発行機関等
11	児童手当・児童扶養手当等受給者 (育成手当・遺児手当等を含む)	○最新の手当支給(改定)通知書等の写 (基準日現在の手当月額、期間の分かるもの)	市区町村役場
12	雇用保険受給者(受給予定者を含む)	○雇用保険受給資格者証の写(全ページ)	職業安定所
13	生活保護費受給者	○直近1年間分の生活保護決定(変更)通知書等の写 (支払金額、年月日が記載されたもの)	福祉事務所
14	傷病手当金受給者	○最新の傷病手当金支給決定通知書等の写	勤務先、社会保険事務所
15	育児休業給付金受給者	○育児休業給付金支給決定通知書等の写	職業安定所 共済組合等

(2) 就学者に関する必要書類

No	対象者	提出書類	発行機関等
16	高校生以上の就学者 (専門専修学校、高等専修学校を含む)	○以下のどちらかを提出 ・在学証明書(原本) ・学生証(生徒証)の写 (発行日又は有効期限の記載から基準日現在の在籍がわかること) ※なお、本人及び鳥取大学生の兄弟姉妹は不要 ----- ※予備校・各種学校(職業訓練校など)等在籍者は就学者控除の対象とならないため、家庭調書(様式1(裏))の「家族状況」は「就学者を除く家族」欄に記入すること。 ※(前期申請時)4月入学予定の就学者がいる場合は、入学後に提出すること。 (4月14日(金)締切)	在 学 校
17	自宅外通学をしている者で、実家と学校が近郊(同一・近隣の市内・県内等)にある就学者	○アパートの契約書等の写	保管中のもの

(3) 特別控除に関する必要書類

No	対象者	提出書類	発行機関等
18	母子・父子世帯	○母子・父子世帯申立書(様式7)	
19	障がい者等(申請者本人を含む)	○身体障害者手帳、療育手帳等の写 ※家計支持者が障害年金を受給中であれば、No.10を参照してください。	保管中のもの
20	長期療養者 (医療保険利用者で、申請時現在6ヶ月以上療養中又は6ヶ月以上療養を必要とする場合) ※控除を希望しない場合は提出不要です。	○医療費等支払明細書(様式8) ○1ヶ月以内に発行の診断書の原本(「病名」、「申請時現在において6ヶ月以上にわたり療養中又は6ヶ月以上の療養を要する旨」及び「現在の状況」を明記したもの) ○医療費等の領収書の写、又は支払証明書の原本(提出前1年間の月々の医療保険自己負担分支払額がわかるもの。入院・外来別)	医療機関 保管中のもの
21	長期療養者 (介護保険利用者) ※控除を希望しない場合は提出不要です。	○介護保険介護サービス費支払明細書(様式9) ○介護保険被保険者証又は要介護認定・要支援認定等結果通知書の写 ○介護サービス費等の領収書の写、又は支払証明書の原本(提出前1年間の月々の介護保険自己負担分支払額がわかるもの)	保管中のもの 介護サービス提供施設
22	本人又は学資負担者が風水害等を受けた場合 ・授業料免除:基準日前6ヶ月以内、 新入生は前期申請のみ入学前1年以内 ・入学金免除等:基準日前1年以内	○罹災証明書、被災額を証明できる書類等 ○保険金等支払(見込)証明書 ○修理費等の領収書等の写	市町村役場 消防署等 損保会社等 建築業者等

(4) その他の書類

No	対象者	提出書類	発行機関等
23	学資負担者が死亡した場合 ・授業料免除:基準日前6ヶ月以内、 新入生は前期申請のみ入学前1年以内 ・入学金免除等:基準日前1年以内	○死亡診断書の写、又は死亡したことが確認できる戸籍抄(謄)本等 ○死亡した学資負担者の直近の所得証明書 ○遺族年金等支払(見込)証明書	市町村役場 保管中のもの
24	その他特に説明を要する場合 (特殊な家族構成等)	○申立書(様式11) ○大学が必要と認める書類 ※特別な事情がある場合は、担当係までご相談ください。	
25	●家計支持者の所得について、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、以下のいずれかに該当する方  ①国や地方公共団体が実施する公的支援(給付金や税金の納付猶予等)を受けている ※公的支援は、支援を受けるにあたり収入の審査があるものに限る。「別紙(例)」を参照  ②世帯全体の所得の合計(家計支持者の所得の合計)が、2021年所得と比較して、1/2以下となっている方 ※独立生計者及び私費留学生は、給与・アルバイトだけでなく、奨学金・送金・貯金等を含めた合計額。(「家計状況調査(様式3)」の収入欄に準ずる)	【提出書類】 ・公的支援の受給証明書(左記①に該当する方のみ) ・直近3ヶ月分の収入がわかるもの 給与所得の場合:直近3か月分の給与明細(コピー) 給与以外の所得の場合:直近3か月分の所得を記入した 「年収見込申立書(様式5)」  ※退職して無職の場合は、提出書類一覧表(様式2)のNo.8およびNo.9を参照	

○書類提出時の注意事項

- ・小さな書類はA4の台紙に貼って提出してください。
- ・提出書類は返却、貸し出し及び閲覧ができませんので、必要に応じコピーをとっておいてください。
- ・書類は申請者が黒のボールペンで記入し、訂正は修正液等を使用せず、訂正箇所二本線を引き、余白に正しい内容を記入してください。

## 提出書類一覧表

所 属	申請者氏名	学生番号	不備書類提出期日
研究科			月 日まで

## B. 独立生計者

要件を満たす大学院生について、本人(配偶者を含む)の一年間の総所得金額等で判定のうえ、独立生計者として認定します。  
(要件の詳細は、家計状況調書(様式3-2)参照)

No	提出書類	留意事項
1	授業料免除申請書(様式1)	1. 記入にあたっては、「授業料免除申請書及び家庭調書記入上の注意」を参照し、 <b>基準日現在の状況</b> を記入してください。 <b>基準日：前期申請分は2023年4月1日 後期申請分は2023年10月1日</b> 2. 家族状況については、「世帯」の考え方を参考にして、もれなく記入してください。 3. 書類提出後から基準日までの間に変更があった場合は、速やかに届け出てください。届け出のないまま後日変更の事実が判明した場合、免除決定後であっても免除の許可を取り消すことがあります。
2	提出書類一覧表(本紙)	本紙をよく確認して提出書類を揃えてください。
3	所得・課税証明書(原本) 【所得の有無にかかわらず、申請者本人と配偶者分】 (市区町村役場発行)	1. <b>前期申請時は、「令和4年度 所得・課税証明書」(令和3年(2021年)分の所得が記載されています)を提出すること。</b> <b>後期申請時は、「令和4年度 所得・課税証明書」(令和4年(2022年)分の所得が記載されています)を提出すること。</b> 2. <b>所得額および住民税額(市区町村住民税所得割額)が表示されていること。金額が記載されていない証明書は不可です。</b> ※所得がない者(専業主婦、学生等)は、合計所得金額が「0円」と記載された証明書を提出してください。 ※住民税が非課税の場合は、「0円」もしくは「非課税」と記載のあるものを提出してください。
26	住民票(原本)	<b>同居・別居を問わず申請者と生計を一にする者全員</b> について、世帯全員がまとめて表記された(「世帯全員分」であることが明記された)もの。
27	家計状況調書(様式3-2)	1. 記入にあたっては、 <b>基準日現在の状況</b> を記入してください。 <b>基準日：前期申請分は2023年4月1日 後期申請分は2023年10月1日</b> 2. 基準日現在行っていないアルバイトや、受給していない奨学金は記入しないでください。
28	別居の父母等の住民票及び所得・課税証明書(原本)(市区町村役場発行)	所得・課税証明書については扶養人数がわかるものを提出してください。 ※なお、申請者本人が結婚していて配偶者や子を扶養していること(配偶者に扶養されている場合を含む)などから、父母からの独立が明らかである場合は、省略可です。
29	父母等の源泉徴収票、確定申告の写	扶養親族がわかるものを提出してください。 ※なお、申請者本人が結婚していて配偶者や子を扶養していること(配偶者に扶養されている場合を含む)などから、父母からの独立が明らかである場合は、省略可です。
30	申請者本人の健康保険証の写	申請者本人が被保険者であり、有効期限が基準日以降のもの。
31	TA・RAの雇用依頼書などの写	時給、勤務予定総時間がわかるもの。
32	奨学金受給決定通知書などの写	受給金額、期間が記載されたもの。
	その他、申請者本人及び配偶者の所得に関する書類や、子に関する書類など	提出書類一覧表の「A. 一般学生(1)家計支持者の所得に関する必要書類～(4)その他の書類」を参照して提出してください。

## C. 私費外国人留学生

No	提出書類	留意事項
1	授業料免除申請書(様式1)	1. 記入にあたっては、「授業料免除申請書及び家庭調書記入上の注意」を参照し、 <b>基準日現在の状況</b> を記入してください。 <b>基準日：前期申請分は2023年4月1日 後期申請分は2023年10月1日</b> 2. 家族状況については、「世帯」の考え方を参考にして、もれなく記入してください。 3. 書類提出後から基準日までの間に変更があった場合は、速やかに届け出てください。届け出のないまま後日変更の事実が判明した場合、免除決定後であっても免除の許可を取り消すことがあります。
2	提出書類一覧表(本紙)	本紙をよく確認して提出書類を揃えてください。
26	住民票(原本)	<b>日本にいる配偶者や子など申請者と生計を一にする者全員</b> について、世帯全員がまとめて表記された(「世帯全員分」であることが明記された)もの。
27	家計状況調書(様式3-1)	1. 記入にあたっては、 <b>基準日現在の状況</b> を記入してください。 <b>基準日：前期申請分は2023年4月1日 後期申請分は2023年10月1日</b> 2. 基準日現在行っていないアルバイトや、受給していない奨学金は記入しないでください。
31	TA・RAの雇用依頼書などの写	時給、勤務予定総時間がわかるもの。
32	奨学金受給決定通知書などの写	受給金額、期間が記載されたもの。
	その他、申請者本人及び配偶者の所得に関する書類や、子に関する書類など	提出書類一覧表の「A. 一般学生(1)家計支持者の所得に関する必要書類～(4)その他の書類」を参照して提出してください。



# 家計状況調書

(私費外国人留学生用)

Date 西暦 年 月 日

がくせいばんごう  
Student ID \_\_\_\_\_  
氏名 Name \_\_\_\_\_

私の基準日現在の家計状況について、以下のとおり申し立てます。

I hereby certify that my current financial status for the specified period is as written below.

◎Please disclose your part-time work as follow's;

- Any work taken up newly should be started from the day started.
- Any previously held part-time work should be disclosed from last year until stopped or until present (if continued)

収入状況 income	scholarship 奨学金	つづき 続柄	しょうがくきんめいしやう 奨学金名称 Scholarship name	しきゆうきかん 支給期間 Duration	ねん 年	がく 額	Yearly amount	
		ほん 本人		ねん 年	がく 月	ねん 年	がく 月	えん 円
				ねん 年	がく 月	ねん 年	がく 月	えん 円
定職・アルバイト	つづき 続柄	しよくしゆ きんむさき 職種・勤務先 Work place	しゅうろうきかん 就労期間 Term of employment	ねん 年	しゅう 収	Yearly salary		
	ほん 本人	ねん 年	がく 月	ねん 年	がく 月	えん 円		
		ねん 年	がく 月	ねん 年	がく 月	えん 円		
送金	つづき 続柄	そうきんしや 送金者 Remitter	び 備	こう 考	Notes	ねん 年	がく 額	Yearly amount
	ほん 本人						えん 円	
その他	つづき 続柄	ない よう 容	び 備	こう 考	Notes	ねん 年	がく 額	Yearly amount
	ほん 本人	よちよきん 預貯金 Saving	しやつきん 借金 Debt	( )			えん 円	
しゅうにゆうごう けい ねん 年 額 収入合計 (年額) Total (Yearly amount)							えん 円	

(※) 1. 収入状況の証明書がある場合は、添付してください。(例：奨学金受給のわかる書類、源泉徴収票、児童手当支給通知書等)

■源泉徴収票 proof of income (certified by employer) ■給与支払 (予定) 証明書 Certificate of (Expected) income

2. 申請中の奨学金、アルバイト等の予定があれば、その額についても収入状況に含めてください。

支出状況 expenses	こう もく 項 目	げつ 月 額	Monthly amount	ねん 年 額	Yearly amount
	じゅう 住 居 費	Housing expenses		えん 円	/
こう ねつ すい ひ とう 光熱水費等	Utility expenses (water, lighting, fuel)		えん 円		
しよく 食 費	Food expenses		えん 円		
しよ せき ひ とう 書籍費等	Textbook and other school materials expenses		えん 円		
つうしん とう 交通費等	Communication expenses ・Transportation expenses		えん 円		
た 他	Other ( )		えん 円		
じょうき 上 記 の 支 出 合 計 額	monthly amount	(1ヶ月の合計)	えん 円	×12=	
ねんかん じゆぎやうりやう 年間の授業料	Annual tuition				えん 円
ねんかん た けい ひ 年間その他経費 ( )					えん 円
しゅうつごう けい ねん 年 額 支出合計 (年額) Total (Yearly amount)					えん 円

(収入額より支出額が多い場合、その差額の出所を必ず記入すること) If your expenses exceed your income, please state the source of your extra income.

(※) 年間の授業料は、前年度実際に支払った額(新入生の場合は予定額)を記入してください。

Please fill out the amount paid in the previous fiscal year in the "Annual tuition" column. (Estimated amount in the case of new students)

申請者の生活状況は上記のとおり困窮していると考えられ、学業継続のためには免除が必要と認められる。

As stated above, the applicant is considered to be facing financial hardship, and thus exemption is necessary for the applicant to continue his/her studies.

しどうきやういせうしよめい  
指導教員等署名

Academic adviser signature



# 家計状況調査書

(大学院独立生計者)

西暦 年 月 日

学生番号 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_

私は、次の1～3のいずれの要件にも該当し、父母等から独立した生計を営んでいます。

1. 所得税法上、父母等の扶養親族でない者
2. 父母等と別居している者
3. 次のa～cのいずれかに該当し、独立した生計を営むだけの収入があると確認できる者 **(収入≧支出の者)**

- a. 本人（配偶者を含む）に年間103万円以上の収入があり、それに関する所得申告がなされ、所得証明書が発行される者
- b. 基準日以降、本人（配偶者を含む）の収入（給付型奨学金、アルバイト等を含めた総額）が、103万円以上となる見込みの者
- c. 本人が本学へ入学のために退職（休職等を含む）し無収入となった者で、預貯金により生活を行っており、その残高が103万円を超えている者

なお、私の基準日現在の家計状況について、以下のとおり申し立てます。

収入状況	奨学金	続柄	奨学金名称	支給期間	年 額
		本人			年 月～ 年 月
				年 月～ 年 月	円
収入状況	アルバイト	続柄	職種・勤務先	就労期間	年 収
		本人	TA・RA（予定）	年 月～ 年 月	円
				年 月～ 年 月	円
収入状況	その他	続柄	内 容	備 考	年 額
		本人	預貯金・借金・（ ）		円
					円
<b>収入合計（年額）</b>					円

(注) 1. 収入状況の証明書がある場合は、添付してください。（例：奨学金受給のわかる書類、源泉徴収票等）  
 2. 申請中の奨学金、アルバイト等の予定があれば、その額についても収入状況に含めてください。

支出状況	項 目	月 額	年 額
		住 居 費	円
	光 熱 水 費 等	円	
	食 費	円	
	書籍費・遊興費・課外活動費等	円	
	通信・交通費等	円	
	その他（ ）	円	
	<b>上記の支出合計額</b>	(1ヶ月の合計) 円	×12= 円
	年間の授業料		円
	年間その他経費（ ）		円
<b>支出合計（年額）</b>			円

(収入額より支出額が多い場合、その差額の出所を必ず記入すること)

(注) 年間の授業料は、前年度実際に支払った額（新生・進学者の場合は予定額）を記入してください。



学生番号										氏名	
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----	--

## 給与支払（予定）証明書

（2022年1月2日以降 新規就職・転職・雇用形態の変更用）

事業主各位

この証明書は、本学学生からの授業料免除または入学料免除・入学料徴収猶予（以下、授業料免除等）の申込みに際して、家族の所得状況の証明を依頼するものです。記入された情報は、授業料免除等の審査のために使用し、その他の目的には利用しません。

鳥取大学 学生部 学生生活課 奨学係  
TEL 0857-31-6776

申請者  
との続柄

受給者氏名 \_\_\_\_\_

住 所 \_\_\_\_\_

就職年月日			勤務形態								
西暦	年	月	日								
上記日時から			<input type="checkbox"/> 採用	<input type="checkbox"/> 雇用形態の変更（再雇用等）							
支払（予定）金額			賞与支給（予定）の有無								
	月	月	月								
①	円	②	円	③	円						
			<input type="checkbox"/> 支給有④ <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="padding: 0 10px;">（</td> <td style="padding: 0 10px;">年間約</td> <td style="padding: 0 10px;">円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 0 10px;">）</td> <td style="padding: 0 10px;">又は年間約</td> <td style="padding: 0 10px;">ヶ月分</td> </tr> </table>			（	年間約	円	）	又は年間約	ヶ月分
（	年間約	円									
）	又は年間約	ヶ月分									
			<input type="checkbox"/> 支給無⑤								

- (注) 1. 該当する項目の□にレを付してください。  
 2. 支払（予定）金額は直近3ヶ月の各月の総支給額（賞与、非課税所得除く）を記入してください。ただし、月の途中で就職した場合の就職月分は記入しないでください。  
 3. 賞与「支給有」の場合で特に定めのある場合は、年間の総支給見込額（又は支給月数）をカッコ内に記入してください。

上記のとおり証明します。

西暦 年 月 日

(給与支払責任者)

所在地

事業所名

職名・氏名

印

以下は、申請者が記入してください。

〈年間所得金額推算方法〉		
_____	÷ 3 ×	_____ = _____
(3ヶ月の合計金額)		(年間所得の推算金額)
①+②+③		↓
	(次の該当する数字)	家庭調書〈様式1(裏)〉の
	・賞与「無」⑤ → 12	「給与収入額」欄に記入
	・賞与「有」④	
	→12+賞与額	
	又は定められた月数又は15	



学生番号										氏名	
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----	--

年 収 見 込 申 立 書  
(2022年1月2日以降 開業・転業者用)

西暦 年 月 日

開業者氏名 \_\_\_\_\_ 申請者  
との続柄 \_\_\_\_\_

住 所 \_\_\_\_\_

職 種 \_\_\_\_\_

私の開業・転業してからの年収の見込みについて、下記のとおり申し立てます。

記

開業・転業年月日 : 西暦 年 月 日

	収入金額	経 費	所得金額 (収入金額－経費)	備 考
年 月	円	円	円	
年 月	円	円	円	
年 月	円	円	円	
年 月	円	円	円	
年 月	円	円	円	
年 月	円	円	円	
年 月	円	円	円	
年 月	円	円	円	
年 月	円	円	円	
年 月	円	円	円	
年 月	円	円	円	
年 月	円	円	円	
年 月	円	円	円	
合 計	円	円	円	

(年間所得の推算金額)



家庭調書〈様式1(裏)〉の「給与以外の所得額」欄に記入



学生番号										氏名	
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----	--

## 退職に関する証明書

事業主各位

この証明書は、本学学生からの授業料免除または入学料免除・入学料徴収猶予（以下授業料免除等）の申込みに際して、家族の所得状況の証明を依頼するものです。記入された情報は、授業料免除等の審査のために使用し、その他の目的には利用しません。

鳥取大学 学生部 学生生活課 奨学係  
TEL 0857-31-6776

退職者氏名 \_\_\_\_\_ 申請者  
との続柄 \_\_\_\_\_

雇用形態	<input type="checkbox"/> 常勤	<input type="checkbox"/> 非常勤（パート、アルバイト等）
退職年月日	西暦	年 月 日
雇用保険の加入状況	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
備考		

（注）該当する項目の□にレを付してください。

上記のとおり証明します。

西暦 年 月 日

（給与支払責任者）

所在地

事業所名

職名・氏名

印



学生番号											氏名	
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----	--

## 母子・父子世帯申立書

西暦 年 月 日

保証人氏名 \_\_\_\_\_ 申請者との続柄 \_\_\_\_\_

下記のとおり相違ないことを申し立てます。

## 記

世帯状況		父親と <input type="checkbox"/> 死別 <input type="checkbox"/> 生別	年 月から
		母親と <input type="checkbox"/> 死別 <input type="checkbox"/> 生別	年 月から
死別の場合	遺族年金受給の有無	<input type="checkbox"/> 有	最新の年金額改定通知書・年金振込通知書等を添付してください。 (年金支払額) × (年間振込回数) = (年額) _____ 円 × _____ 回 = _____ 円 ※年金支払額とは、介護保険料、所得税等を控除する前の金額です。
		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 受給資格がない <input type="checkbox"/> その他 ( )
生別の場合	父又は母から養育費等の援助の有無	<input type="checkbox"/> 有	(続柄) _____ (氏名) _____ から援助がある。 (月額) _____ 円 × 12ヶ月 = (年額) _____ 円
		<input type="checkbox"/> 無	
児童扶養手当受給の有無		<input type="checkbox"/> 有	最新の児童扶養手当支給(改定)通知書等(写)を添付してください。 (月額) _____ 円 × 12ヶ月 = (年額) _____ 円 (基準日現在)
		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 受給資格がない <input type="checkbox"/> その他 ( )
親戚・知人等からの援助の有無		<input type="checkbox"/> 有	(続柄) _____ (氏名) _____ から援助がある。 (月額) _____ 円 × 12ヶ月 = (年額) _____ 円
		<input type="checkbox"/> 無	

## 世帯構成について

<input type="checkbox"/>	① 母又は父と18歳未満の子 <sup>※1</sup> の世帯
<input type="checkbox"/>	② 母又は父と18歳未満の子及び60歳以上で経済力のない祖父母 <sup>※2</sup> の世帯
<input type="checkbox"/>	③ 18歳未満の子の世帯
<input type="checkbox"/>	④ 祖父母と18歳未満の子の世帯
<input type="checkbox"/>	⑤ 配偶者のいない兄弟と18歳未満の子の世帯
<input type="checkbox"/>	⑥ 配偶者のいない兄弟と18歳未満の子及び60歳以上で経済力のない祖父母の世帯

※1 18歳以上の就学者(本人を含む)も、18歳未満の子とみなします。

※2 所得金額50万円未満

(注) 1. 該当する項目の□に、レを付してください。

2. 父親、母親がいない世帯であっても、授業料免除等の選考基準における母子・父子世帯に該当しない場合があります。該当するか確認したい場合は、担当係へお問い合わせください。



学生番号											氏名	
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----	--

## 医療費等支払明細書

西暦 年 月 日

## 1. 総括表

受診した者の氏名

申請者  
との続柄

健康保険の種類

診療期間

外来：西暦 年 月 日 ～ 西暦 年 月 日

入院：西暦 年 月 日 ～ 西暦 年 月 日

## 2. 医療費内訳（申請月から順に遡って1年分を記入）

	①医療費（自己負担金額のみ）（注1）			②補填される金額（注2） （高額療養費等）	控除対象医療費 （①－②）
	外来分	入院分	薬代（薬局分）		
月分	円	円	円	円	円
月分	円	円	円	円	円
月分	円	円	円	円	円
月分	円	円	円	円	円
月分	円	円	円	円	円
月分	円	円	円	円	円
月分	円	円	円	円	円
月分	円	円	円	円	円
月分	円	円	円	円	円
月分	円	円	円	円	円
月分	円	円	円	円	円
月分	円	円	円	円	円
月分	円	円	円	円	円
合計	円	円	円	円	③ 円

（注1） 以下は、控除の対象となりませんので注意してください。

文書料（診断書発行料）、入院時の食費、差額ベッド代などの医療保険給付適用外（自費分）の支払額、  
診断の病名に関係のない（関係が明らかでない）領収書

（注2） ②補填される金額には、療養付加金、高額医療費払戻金、生命保険（療養給付金）等の還付された金額を記入し、支給決定通知書等の補填された金額のわかる書類のコピーを添付してください。

※ 高額療養費は、社会保険等へ請求されたものとして取り扱います。

## &lt;提出にあたって&gt;

1. 1か月以内に発行の診断書（「病名」、「申請時現在において6か月以上にわたり療養中、又は6か月以上の療養を要する旨」及び「現在の状況」を明記したもの）及び領収書の写等を必ず添付してください。

2. 領収書の写は、病院（薬局）ごとにまとめて、台紙（様式10・11〔別紙〕）等A4サイズの用紙に貼付するか、A4サイズにコピーするなどして、確認しやすいように提出してください。



学生番号											氏名	
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----	--

### 領収書等貼付台紙（医療費・介護サービス費）

療養者氏名 \_\_\_\_\_ 病院・薬局・介護サービス施設等名 \_\_\_\_\_

- 病院(薬局)・介護サービス施設ごとにまとめて、月別にこの台紙に貼付してください。  
 (台紙は、必要枚数をコピーして使用すること。A4サイズであれば台紙は使用しなくても構いません。)

西曆	年	月	分
----	---	---	---

..... ここから下に貼付してください。 .....



学生番号										氏名	
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----	--

## 介護保険介護サービス費支払明細書

西暦 年 月 日

### 1. 総括表

受診した者の氏名

申請者  
との続柄

利用期間

西暦 年 月 日 ~ 西暦 年 月 日

### 2. 内訳（申請月から順に遡って1年分を記入）

	①支払額 (自己負担金額のみ) (注1)	②補填される金額 (高額介護サービス費) (注2)	控除対象介護サービス費 (①-②)
月分	円	円	円
月分	円	円	円
月分	円	円	円
月分	円	円	円
月分	円	円	円
月分	円	円	円
月分	円	円	円
月分	円	円	円
月分	円	円	円
月分	円	円	円
月分	円	円	円
月分	円	円	円
月分	円	円	円
合計	円	円	③ 円

(注1) 介護保険適用の介護サービスについては、利用限度額内の自己負担額を控除の対象とします。  
介護保険給付適用外(自費分)の支払額は控除の対象となりませんので注意してください。

(注2) ②補填される金額には、高額介護サービス費払戻金等の還付された金額を記入してください。  
また、支給決定通知書等の補填された金額のわかる書類の写を添付してください。

#### <提出にあたって>

- 「介護保険被保険者証」又は「要介護認定・要支援認定等結果通知書」の写及び領収書の写等を必ず添付してください。
- 領収書の写は、介護サービス施設ごとにまとめて月別に台紙(様式10・11〔別紙〕)に貼付、又はA4サイズにコピーするなどして、確認しやすいように提出してください。



学生番号												氏名	
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----	--

## 無職の申立書

西暦 年 月 日

申立人 \_\_\_\_\_

(申請者との続柄 )

下記のとおり相違ないことを申し立てます。

## 記

無職者の氏名		申請者との続柄	
生年月日	年	月	日生
住所			
無職である理由, 就業の見通し等			
前職の有無 (パート、 アルバイトを含む)	<input type="checkbox"/> 有 (退職日 年 月 日)		<input type="checkbox"/> 無
前職が有る場合は 前職の勤務先			
前職が有る場合は 雇用保険の状況 (該当する項目の□に レを付してください)	<input type="checkbox"/> 制度なし <input type="checkbox"/> 受給資格なし (理由: ) <input type="checkbox"/> 申請予定・申請中 ( 年 月 日頃) ※受給者証が発行され次第、写しを提出してください。 <input type="checkbox"/> 受給終了 ( 年 月 日)		
現在の生活費の出所			

- (注) 1. 該当する項目の□にレを付してください。  
 2. 無職者の健康保険証(有効期限が、前期は4/1、後期は10/1以降のもの)の写を添付してください。  
 3. 出願前6カ月以内に退職した場合は、提出書類一覧表(様式2)のNo.8を参照し、退職に関する書類も併せて提出してください。





